

★漢方あれこれ★

◆薬食同源◆

身近にある有毒植物の復習



太田 順康

今年も「ニラ」と間違えて「水仙」を食べたり、「ニラ」の中に「水仙」混じっていて中毒を起こしたケースが全国で起きています。地上部は良く似ていますが臭いをかげばすぐ判るはずですが、また水仙には地下に根茎があるのですぐ判るはずですが？ 山菜採りの季節になるとこんな中毒がよく起こります。前にも書きましたが今一度復習です。

身近にある園芸植物でうかつに口に入れると中毒を起こす草花が沢山あります。

春の花のフクジュソウも有毒です。若芽がフキノトウによく間違えられます。

アイヌの毒矢に使ったと言われる「トリカブト」は有名な毒草です。根っこは「附子」といって毒抜きしたものを漢方薬として使いますが劇薬です。花や茎、葉にもアルカロイドを含んでいて、摘んだときに手についた液が口に入ると舌が痺れたりします。春先に出る根生葉は野草のニンソウのそれと似ているため間違えて食べて中毒死した人があります。私自身も、トリカブトの根を薬にするため皮を剥いていて、手を洗わず「おかき」を食べたら、舌が痺れてきて、背中筋が引き攣れてきて慌てたことがあります、急いで毒消しの効果のある「黒豆」を煎じて飲んで事なきを得たことが有ります。

ヒガンバナは有毒だと判っている人が多いと思いますが、葉は「ニラ」に良く似ています、さすがにこれは花の後に出てきてニラと季節が違うのでわかんと思います。

園芸品種の花の中にも有毒なものが有るので要注意です。綺麗な花のダツラ（チョウセンアサガオ）も猛毒です。有名な「サリン」を解毒する成分が入っていますが猛毒です。

この他モロヘイヤの種や莢も有毒です、食用にする葉は無毒が確認されていますが、収穫する時に種や莢が混じらないようにしましょう。クリスマスローズで心臓麻痺を起こした例も報告されています。

ニチニチソウ、スズラン、ヒヤシンス、チューリップ、ポインセチア、アジサイ、キョウチクトウなども有毒です。うっかり口に入れたり、摘んだ時の液のついた手を口にもつけないようにしてください。 ↗



を禅洞

すこやか教室 山歩き

曜日と時間： 毎週金曜日 10:30～

☆雨のときは、中止します。

☆お茶など飲み物を持参

<6月の予定>

2日(金) 9日(金) 16日(金)

23日(金) 30日(金)

5月中旬以降、気温が30℃を超したり、またすぐ低くなったりと不安定ですが、体調はいかがですか。松尾池周辺は緑であふれ、鳥たちも賑やかです。これから梅雨の時期に入り、暑い夏へと向かいます。体を動かし、気候の変化に慣れ、負けないようにしましょう。良いお天気が続きますように。



§ 漢方相談日

(担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。岐阜県漢方研究会会長。岐阜薬科大学「漢方学」講師) 今月の漢方相談日は、下記のように。

5日(月) 19日(月) 26日(月)

§ 6月の休診日

なし

§ 甲状腺エコー検査を始めました。

ご希望の方は、受付までお申し出ください。

スーパーで販売されている「タラノメ」しか見たことの無い人が、地面に生えていてよく似ている「ハシリドコロ」（キチガイナスビ）をタラノメだと思い込んで食べて中毒を起こした例もあります。トゲのあるタラノ木を知っていれば地面に生えている筈がないと、間違え無いのですが。知ったかぶりが一番怖いですね。

ジャガイモの芽の部分や、銀杏の食べ過ぎも中毒を起こすことはよく知られていますが、白インゲン豆も軟らかくなるまで十分加熱しないでそのまま食べると嘔吐・下痢を起こします。「白インゲン豆ダイエット」を試して中毒を起こした人が多く有ります。 (つづく)